

あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター 総合技術支援セミナー

「シンクロトロン光の食品産業への利用」

食品製造企業を始めとして、シンクロトロン光を利用した分析の経験のない方や、実際の開発プロセス等での活用事例についてご興味のある方々を対象とした総合技術支援セミナーを開催します。

本セミナーでは、シンクロトロン光について、あいちシンクロトロン光センターの産業利用アドバイザーが食品産業分野での利用例を中心にわかりやすく解説し、また、アイリスオーヤマ株式会社からは食品のおいしさ評価を例に、企業の立場からのシンクロトロン光活用事例を紹介します。併せて当センターにおけるシンクロトロン光を活用した研究事例も発表します。

多くの皆様の御参加をお待ちしています。

概要

日時：2024年2月22日（木）午後1時から午後4時30分

場所：あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター 大研修室
（名古屋市西区新福寺町2-1-1）

主催：愛知県、公益財団法人科学技術交流財団、包装食品技術協会

定員：60名（申込先着順）

参加費：無料

内容

●主催者あいさつ

あいちシンクロトロン光センター 所長 國枝 秀世

●演題1 13:05~14:35

「シンクロトロン光の原理と食品分野での利用」

あいちシンクロトロン光センター 産業利用アドバイザー 東 博純

○内容：

シンクロトロン光センターは、運用開始から10年が経過し、様々な分野で利用されています。食品分野でも、XAFSによるガスバリア包材評価、清酒酵母への照射など多くの分析、処理に利用されるようになりました。

本講演では、シンクロトロン光の原理、分析手法と幾つかの利用例を紹介します。

●演題2 14:45~15:45

「アイリスオーヤマの放射光への取り組み -おいしさを見る-」

アイリスオーヤマ株式会社 応用研究部サブリーダー 藤村 洋氏

○内容：

主力事業の一つである「米事業」において、炊飯器、パックご飯のおいしさを追求する中、放射光X線GTを使用した「ご飯のおいしさを見る」取り組み等の事例を解説します。

また、放射光を利用するに至った経緯や、企業としてどのように放射光を活用してきたか、放射光測定へのアプローチについて紹介します。

●食品工業技術センターでのシンクロトロン光利用例 15:50~16:30

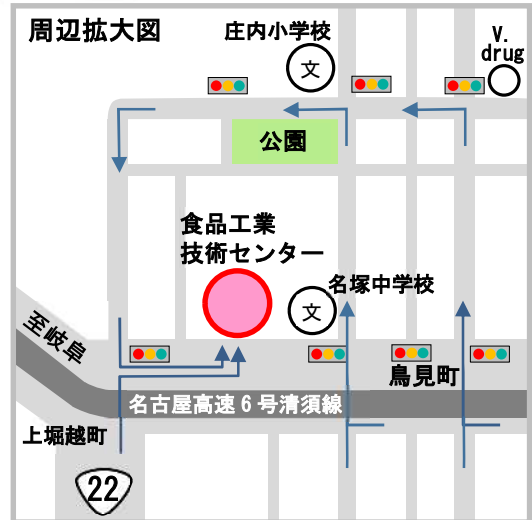
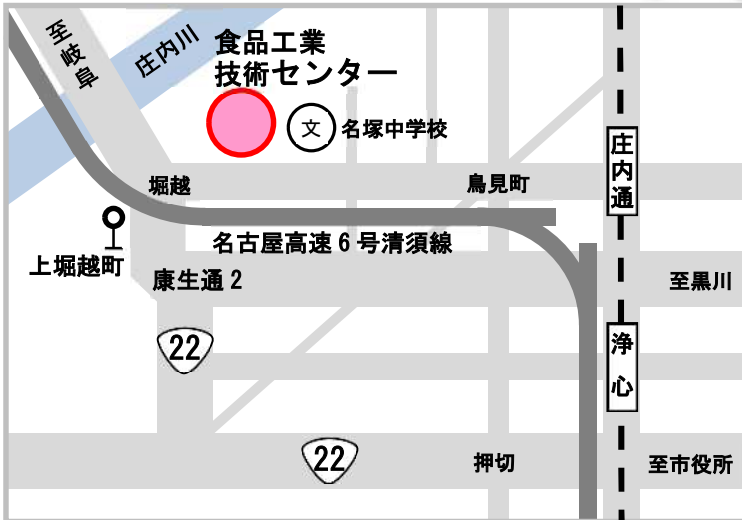
○事例1 「シンクロトロン光による包装材料の劣化評価」

食品工業技術センター 保蔵包装技術室 主任研究員 鳥居 貴佳

○事例2 「シンクロトロン光による清酒酵母の育種」

食品工業技術センター センター長 山本 晃司

アクセス



- 地下鉄 名古屋駅、栄方面から地下鉄東山線「伏見」乗り換え
鶴舞線（犬山、上小田井方面）「庄内通」下車 2番出口 西へ徒歩約12分
- 市バス 名古屋駅：「バスターミナル」5番のりばから
名駅11（名古屋駅（左回り）行き）「上堀越町」下車 徒歩約3分
名駅26（平田住宅行き） 「上堀越町」下車 徒歩約3分
栄：「オアシス21」1番のりばから
栄25（名塚中学行き／名西橋行き）「上堀越町」下車 徒歩約3分
栄27／西巡回（栄（右回り）行き）「上堀越町」下車 徒歩約1分
栄27／西巡回（栄（左回り）行き）「上堀越町」下車 徒歩約3分
- タクシー 名古屋駅から約20分
駐車場 51台

●参加申込書

FAX：052-532-5791 又は E-mail：shokuhin-seminar@aichi-inst.jp

2023年度 総合技術支援セミナー			
事業所名			電話
所在地			
所属	氏名	所属	氏名

お問合せ TEL052-325-8094（担当：保蔵包装技術室 吉富、鳥居、石川）

※当センターWebページの「講演会・研修会等」からもお申込みいただけます。

<https://www.aichi-inst.jp/shokuhin/other/seminar/>

※本参加申込書に記入いただいた情報は、本セミナー以外の目的には使用しません。

※参加受付証は発行しません。申込みの上、直接会場にお越しください。

※定員超過等によりご参加いただけない場合のみ連絡します。

